

**製品名:** インテグリン  $\alpha 2$  ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab12666

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	130kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ITGA2
別名	ITGA2; CD49B; Integrin alpha-2; CD49 antigen-like family member B; Collagen receptor; Platelet membrane glycoprotein Ia; GPIa; VLA-2 subunit alpha; CD49b
遺伝子 ID	3673.0
SwissProt ID	P17301
免疫原	抗血清はヒト ITGA2 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1081-1130

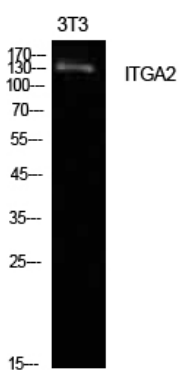
**背景**

インテグリンサブユニット  $\alpha 2$  (ITGA2) ホモサピエンス この遺伝子は、コラーゲンおよび関連タンパク質の膜貫通受容体の  $\alpha$  サブユニットをコードする。コードされているタンパク質は  $\beta$  サブユニットとヘテロ二量体を形成し、血小板および他の細胞型の細胞外マトリックスへの接着を媒介する。コードされているタンパク質の喪失は、出血性疾患である血小板 9 型と関連している。このタンパク質に対する抗体は、新生児同種免疫性血小板減少症を含むいくつかの免疫疾患で認められている。この遺伝子は、関連する  $\alpha$  サブユニット遺伝子に隣接して位置している。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2012 年 8 月]、ドメイン: インテグリン I ドメイン (挿入) は VWFA ドメインである。I ドメインを持つインテグリンはプロテアーゼによる切断を受けない。機能: インテグリン  $\alpha 2/\beta 1$  は、ラミニン、コラーゲン、コラーゲン C プロペプチド、フィブロネクチン、E カドヘリンの受容体である。コラーゲン中のプロリン水酸化配列 G-F-P-G-E-R を認識する。血小板やその他の細胞のコラーゲンへの接着、コラーゲンおよびコラーゲナーゼ遺伝子発現の調節、力の発生、そして新たに合成された細胞外マトリックスの組織化に関与する。多型: 位置 534 は血小板特異的同種抗原 HPA-5 (Br) と関連している。HPA-5A/Br(a) は Lys-534 を持ち、HPA-5B/Br(b) は Glu-534 を持つ。HPA-5B は新生児同種免疫性血小板減少症 (NAIT または NATP) に関与している。Lys-534-Glu 多型は、冠動脈疾患 (CAD) において役割を果たしている可能性がある。類似性: インテグリン  $\alpha$  鎖ファミリーに属する。類似性: 1 つの VWFA ドメインを含む。類似性: 7 つの FG-GAP リピートを含む。サブユニット:  $\alpha$  サブユニットと  $\beta$  サブユニットのヘテロダイマー。 $\alpha$ -2 は  $\beta$ -1 と会合する。HPS5 および RAB21 と相互作用する。ヒトエコーウイルス 1 型および 8 型のカプシドタンパク質に結合し、これらのウイルスの受容体として機能する。ロタウイルス A の VP4 と (ITAG2 I ドメインを介して) 相互作用する。この相互作用は、ITGA2 が受容体として機能するロタウイルスインテグリン依存性株でのみ起こる。

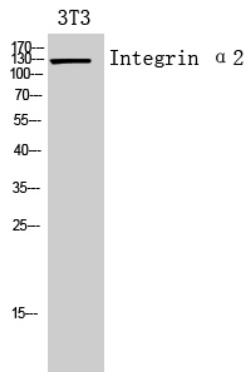
## 研究分野

接着斑、ECM-受容体相互作用、造血細胞系統、アクチンと細胞骨格の調節、がんにおける経路、小細胞肺がん、肥大型心筋症 (HCM)、不整脈性右室心筋症 (ARVC)、拡張型心筋症。

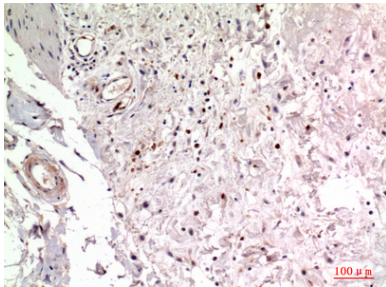
## 画像データ



インテグリン  $\alpha 2$  ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



インテグリン α2 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された